



Viva いまきた

〈学校の教育目標：豊かな心を持ち たくましく生きる子〉

豊かな体験を通して笑顔の“もと”を育む

校長 渡邊正博

新緑の季節です。題字の色も緑にしてみました。

朝から聴こえる元気な挨拶大きな歌声、先生や仲間話を聴く姿勢・視線などからも、子ども達の心に芽生えた“やる気の芽”が大きく膨らんでいることを感じます。

◆春休み中に、先生方にこんな質問をしました。

- ① 貴方が笑顔になるのはどんな時ですか。(その理由)
- ② 子どもたちにどんな力をつけたいですか。(その理由)

出会う間もない先生方の人となりや教育観、今年の目標(やる気の芽)を感じることができました。とても頼もしい先生方です。

◆PTA総会後に「すぐーる」で保護者様にも同じ質問をしました。選択制ではなく、すべて記述式(保護者様には全部で5つ質問しています)です。それを読むと、配信3日(4/30 現在)で125人の回答があり、保護者様125人と話したような感覚を覚えました。ありがとうございました。

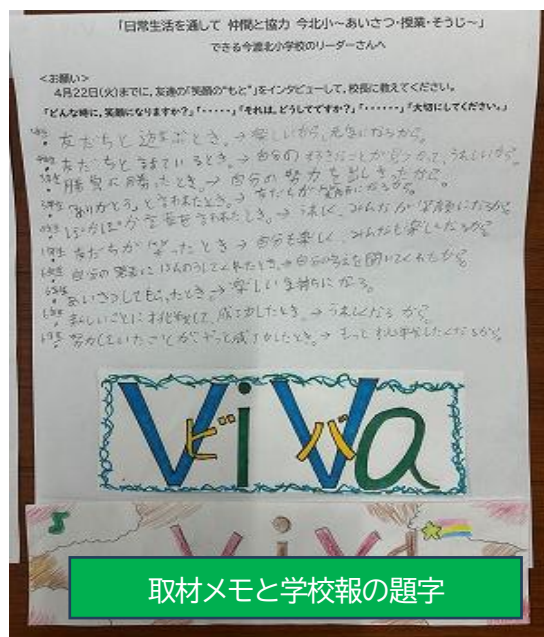
◆実は、①については子ども達にも聞いてみました。まず、児童会委員長(今北小のリーダーズ)に訊ね、他の子どもたちへの聞き取り調査を依頼しました。11人のリーダーズは3日間で122人の仲間にインタビューしました。(詳しくは4/18学校HP「第1回今北小リーダーズ会」参照)。

ここで、三者の声の集約・分析の中間報告をします。「笑顔になる時」は、大きく3つ。1つは「誰かに何かをしてもらった時(ありがとう)」。もう1つは「できなかったことが自分の努力でできるようになった時(うれしい、楽しい)」でした。子ども達の声はこちらが多かったです。そして最後の1つは「好きな人と・・・」「好きなものを・・・」「好きなことを・・・」でした。(・・・には様々な場面が入ります。)

これらの声は、“やる気の芽”を周りの協力を得ながら自分の力で粘り強く育てた豊かな(様々な)体験から生まれる感情だと思います。さらに、どうして好きになったの?できるようになったの?という「問いかけ」を通して体験を経験値に高め、「笑顔の“もと”」を育てていきたいと思っています。



リーダー会でのリラックスタイム



取材メモと学校報の題字